

**製品名: ERp57 ウサギポリクローナル抗体**

**カタログ番号: APRab10614**

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	55kDa

## 抗原情報

遺伝子名	PDIA3
別名	PDIA3; ERP57; ERP60; GRP58; Protein disulfide-isomerase A3; 58 kDa glucose-regulated protein; 58 kDa microsomal protein; p58; Disulfide isomerase ER-60;Endoplasmic reticulum resident protein 57; ER protein 57; ERp57; Endoplasmic reticulum resident protein 60; ER protein 60; ERp60
遺伝子 ID	2923.0
SwissProt ID	P30101
免疫原	抗血清はヒト PDIA3 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 111-160

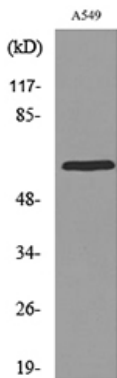
## 背景

この遺伝子は、レクチンシャペロンであるカルレティキュリンおよびカルネキシンと相互作用して、新たに合成された糖タンパク質のフォールディングを調節する小胞体タンパク質をコードしています。このタンパク質はかつてホスホリパーゼと考えられていましたが、実際にはタンパク質ジスルフィドイソメラーゼ活性を有することが実証されています。レクチンとこのタンパク質の複合体は、糖タンパク質基質におけるジスルフィド結合の形成を促進することで、タンパク質のフォールディングを媒介すると考えられています。 [RefSeq 提供、2008年7月],触媒活性: タンパク質中の-S-S-結合の転位を触媒します。 ,注意: 当初はホスファチジルイノシトール-4,5-ビスリン酸ホスホジエステラーゼ I 型 (ホスホリパーゼ C- $\alpha$ ) であると考えられていました。 ,質量分析: PubMed: 11840567,類似性: タンパク質ジスルフィドイソメラーゼファミリーに属します。 ,類似性: 2つのチオレドキシンドメインを含みません。 ,細胞内局在: 質量分析により、ステージ I からステージ IV までのメラノソーム分画で同定されました。 ,サブユニット: ERP27 および CANX と相互作用します。 ,

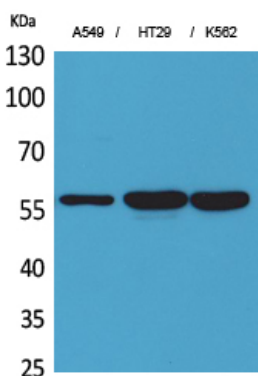
## 研究分野

抗原の処理と提示

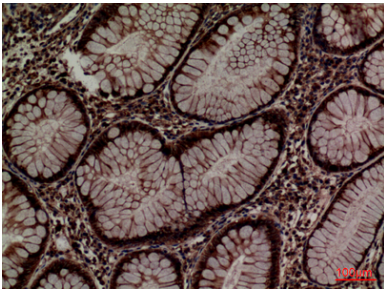
## 画像データ



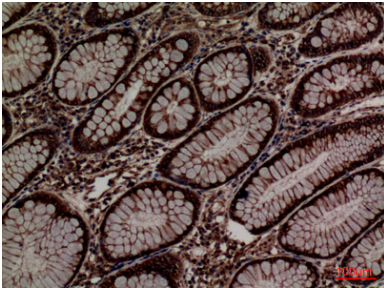
PDIA3 抗体を使用した A549 細胞の溶解液のウェスタン ブロット分析。



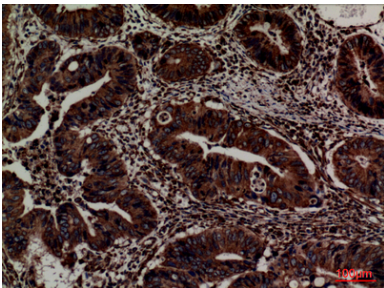
ERp57 ポリクローナル抗体を用いた A549、HT29、K562 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



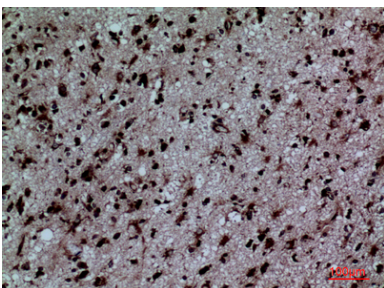
パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



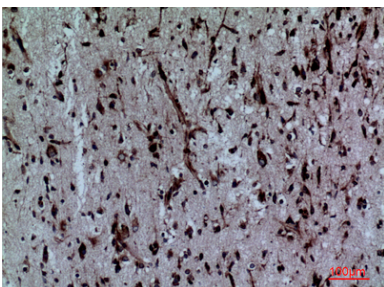
パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された